

## 志賀原子力発電所周辺の放射性ヨウ素、放射性セシウムの検出について（続報）

当社は福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、志賀原子力発電所の環境放射線監視を強化しています。

以下に、本日の測定結果をお知らせします。

### 志賀原子力発電所の敷地内で検出された放射性物質の濃度

放射性物質 採取地点	ヨウ素 131	試料採取期間
発電所敷地内 (降下物中)	検出されず	平成 23 年 4 月 5 日 9:55 ~ 4 月 6 日 9:50
発電所敷地内 (大気中)	$2.4 \times 10^{-3}$ [ $\mu\text{Ci}/\text{m}^3$ ]	平成 23 年 4 月 6 日 8:49 ~ 4 月 7 日 8:55

上記の大気中の放射性物質により受ける放射線量は、1 日で約 0.0008 マイクロシーベルトであり、胸のエックス線検診（1 回）で受ける放射線量（60 マイクロシーベルト）と比べると約 7 万分の 1 と十分低い値です。

また、当社は石川県及び志賀町との安全協定 に基づき、従来から毎月測定している降下物（発電所敷地内、志賀町福浦港）を分析した結果、微量の放射性物質（放射性ヨウ素、放射性セシウム）を検出しました。

### 「志賀原子力発電所周辺の安全確保及び環境保全に関する協定書」

放射性物質 採取地点	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	試料採取期間
発電所敷地内 (降下物中)	$1.0 \times 10^1$ [ $\mu\text{Ci}/\text{m}^2$ ]	$1.6 \times 10^{-1}$ [ $\mu\text{Ci}/\text{m}^2$ ]	$2.0 \times 10^{-1}$ [ $\mu\text{Ci}/\text{m}^2$ ]	平成 23 年 3 月 1 日 14:30 ~ 4 月 1 日 14:30
志賀町福浦港 (降下物中)	$3.7 \times 10^1$ [ $\mu\text{Ci}/\text{m}^2$ ]	$3.1 \times 10^{-1}$ [ $\mu\text{Ci}/\text{m}^2$ ]	$3.8 \times 10^{-1}$ [ $\mu\text{Ci}/\text{m}^2$ ]	平成 23 年 3 月 1 日 14:00 ~ 4 月 1 日 14:00

上記の降下物中の放射性物質により受ける放射線量は、1 日で約 0.0094 マイクロシーベルトであり、胸のエックス線検診（1 回）で受ける放射線量（60 マイクロシーベルト）と比べると約 6 千分の 1 と十分低い値です。

なお、現在、志賀原子力発電所 1、2 号機は停止しており、発電所からの放射能を監視している排気筒の排気中に放射性ヨウ素、放射性セシウムは検出されておらず、また放射線モニタに有意な変動はないことより、本事象は志賀原子力発電所に起因したものではありません。

以 上